

●対応しているソフトウェア／ファイル形式  
Illustrator, Photoshop, Painting and Drawing

●最適な解像度  
Resolution should be 300 to 600 dpi



300 ~ 600 dpi

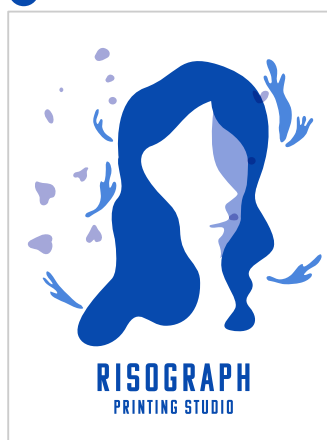
●データの制作の流れ

Please separate the plate for each ink and convert each to grayscale data for submission.

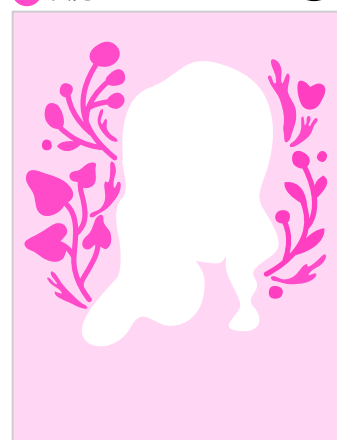
①



●ミディアムブルー



●蛍光ピンク



1\_ 完成イメージをカラーで制作

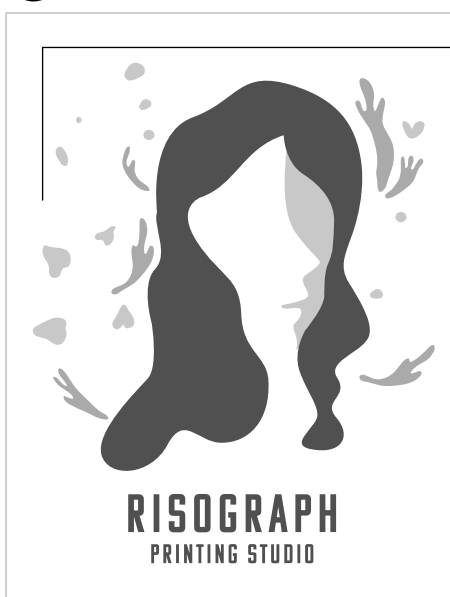


2\_ インクごとにレイヤーを分ける



3\_ グレースケールに変換

③

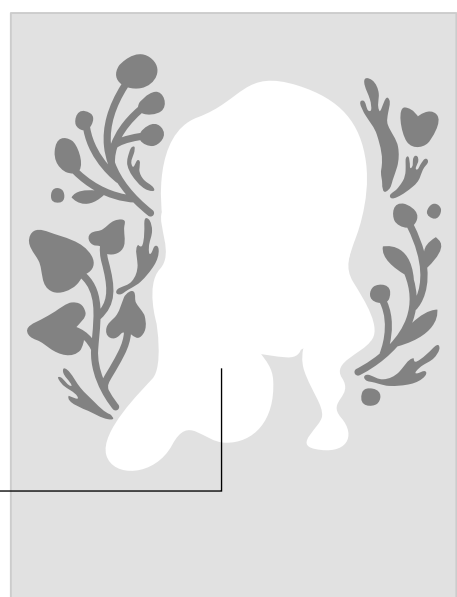


ノセ

インクは水彩絵具のように混色するので、うまく活用することで表現の幅が広がります。グレイの濃度が印刷の濃度に反映するので、濃淡を調整します。

ヌキ

混色したくない部分は白く抜く。



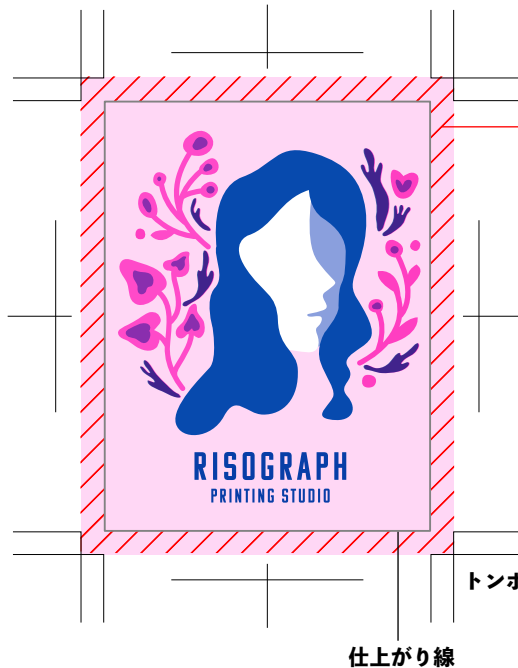
Check!

文字はすべてアウトライン化、またはラスターライズする。



Check!

フチ (余白) なし印刷の場合は塗り足しを付ける。



塗り足し

フチ (余白) なし印刷では絵柄をフチより大きめにとり、仕上がり線で断裁します。そのため、上下左右に5mmの塗り足しをつけたデータを制作してください。

トンボ

仕上がり線

Notice

インクごとに版を分けたものを黒1色 (グレースケール) のデータに変換して入稿してください。

- ・同じインクであれば、レイアウト内に濃淡が混在していても問題ありません。
- ・1色の印刷でも最大2～3mmの断裁位置ズレが生じます。四辺に枠や、均等に余白を残すデザインは、均等に仕上がりにません。
- ・細かいデザインの混色や抜き合わせは、版ズレが目立ちやすくなります。
- ・あらかじめズレを想定して色分けされることをおすすめします。
- ・印刷料金と納期は色数 (インクの数) に応じて決まります。納期を短縮されたい場合、色数を減らすことをご検討ください。
- ・印刷面積や色数が多くなる程、紙をリソグラフに通す回数が増えるため、ズレ・汚れなどの仕上がりにリスクが高くなります。